



# ドメイン間フェデレーションとイントラドメインフェデレーション導入の統合

- [Microsoft サーバのドメイン間フェデレーション機能の IM and Presence サービスの統合, 1 ページ](#)
- [Microsoft サーバのドメイン間フェデレーション機能の IM and Presence サービスの統合, 2 ページ](#)
- [Microsoft サーバのドメイン内フェデレーション接続を介したドメイン間フェデレーションのリモートドメインのセットアップ, 3 ページ](#)
- [リモートドメインへのスタティックルートの設定, 4 ページ](#)
- [Microsoft サーバのドメイン間フェデレーション機能と IM and Presence サービス統合の削除, 6 ページ](#)

## Microsoftサーバのドメイン間フェデレーション機能のIM and Presence サービスの統合

Microsoft サーバのドメイン間フェデレーション機能の IM and Presence サービスを統合できます。Microsoft サーバは、リモート企業またはパブリック IM プロバイダーとのドメイン間フェデレーションフェデレーションをサポートしています。パーティションイントラドメインフェデレーションが Microsoft サーバおよび IM and Presence サービス間に設定されている場合、Microsoft Lync または Microsoft Office Communicator のユーザはこのドメイン間フェデレーション機能を使用できます。

さらに IM and Presence サービス対応クライアントに移行するユーザがまだ Microsoft サーバで設定されたドメイン間フェデレーション機能を使用できるように、IM and Presence サービスを設定できます。

IM and Presence サービスでのドメイン間フェデレーションフェデレーションの設定については、『*Interdomain Federation for IM and Presence Service on Cisco Unified Communications Manager*』を参照してください。

## 連携動作と制限事項

- 統合されたドメイン間フェデレーションフェデレーションおよびパーティションイントラドメインフェデレーション導入がある場合は、フェデレーションに電子メールを使用しないでください。フェデレーションの電子メールアドレスは、パーティションイントラドメインフェデレーションが設定された導入ではサポートされません。Skype for Business/Lync/OCS のドメイン間フェデレーション機能を使用する導入では、フェデレーションの電子メールアドレスはドメイン間フェデレーションでもサポートされません。フェデレーションの電子メールアドレスがこれらの導入シナリオの導入でイネーブルになっていないことを確認します。
- Microsoft サーバとのパーティションイントラドメインフェデレーションが有効な場合、SIP ベースおよびXMPP ベースの両方のドメイン間フェデレーションを IM and Presence サービスのリモートドメインに設定することもできます。ただし、このフェデレーション機能は IM and Presence サービス対応クライアントのユーザのみ使用できます。

## Microsoftサーバのドメイン間フェデレーション機能のIM and Presence サービスの統合

Microsoft サーバのドメイン間フェデレーション機能の IM and Presence サービスを統合できます。

Microsoft サーバは、リモート企業またはパブリック IM プロバイダーとのドメイン間フェデレーションフェデレーションをサポートしています。パーティションイントラドメインフェデレーションが Microsoft サーバおよび IM and Presence サービス間に設定されている場合、Microsoft Lync または Microsoft Office Communicator のユーザはこのドメイン間フェデレーション機能を使用できます。

さらに IM and Presence サービス対応クライアントに移行するユーザがまだ Microsoft サーバで設定されたドメイン間フェデレーション機能を使用できるように、IM and Presence サービスを設定できます。

IM and Presence サービスでのドメイン間フェデレーションフェデレーションの設定については、『*Interdomain Federation for IM and Presence Service on Cisco Unified Communications Manager*』を参照してください。

# Microsoftサーバのドメイン内フェデレーション接続を介したドメイン間フェデレーションのリモートドメインのセットアップ

IM and Presence サービスユーザは、既存の Skype for Business/Lync/OCS ドメイン間フェデレーション接続または IM and Presence サービスで直接設定する外部ドメインへの接続を使用して、外部ドメインと通信できます。

既存の Microsoft サーバのドメイン内フェデレーション接続を介してドメイン間フェデレーションを設定する場合は、リモートドメインへのすべての要求は IM and Presence サービスと Microsoft のサーバ間の SIP インターフェイス経由でルーティングされます。既存のドメイン内フェデレーション接続を介してドメイン間フェデレーションを設定する前に Microsoft サーバ SIP フェデレーションドメインとして IM and Presence サービスのリモートドメインを設定する必要があります。各リモートドメインに対してこの作業を実行します。

SIP フェデレーションドメインの設定方法に関する手順については、『*Interdomain Federation for IM and Presence Service on Cisco Unified Communications Manager*』の SIP フェデレーションドメインの設定への追加に関連する手順を参照してください。

Microsoft サーバで設定されている既存のドメイン内接続を使用してドメイン間フェデレーションに SIP フェデレーションドメインを設定する際は、次のオプションの選択します。

- [ドメイン名 (Domain Name)] には、リモートドメインを入力します。
- [統合タイプ (Integration Type)] には、[ドメイン間から OCS/Lync (Inter-domain to OCS)] を選択します。
- [Direct Federation (ダイレクトフェデレーション)] のチェックボックスがオンになっていることを確認します。



(注) マルチクラスタを導入している場合は、各クラスタで、この手順を実行する必要があります。これらの設定はクラスタ全体で有効になります。したがって、任意のクラスタ内の IM and Presence サービスデータベースパブリッシャノードでのみ設定する必要があります。

## 次の作業

[リモートドメインへのスタティックルートの設定、\(4 ページ\)](#)

## 関連トピック

[『Interdomain Federation for IM and Presence Service on Cisco Unified Communications Manager』統合のトラブルシューティング](#)

## リモートドメインへのスタティックルートの設定

Skype for Business/Lync/OCS ドメイン間フェデレーション機能と IM and Presence サービスを統合する場合は、各リモートドメインの IM and Presence サービスでスタティックルートを設定する必要があります。



### 注意

フェデレーションの電子メールアドレスは、パーティションイントラドメインフェデレーションが設定された導入ではサポートされません。フェデレーションの電子メールアドレスは、Microsoft サーバのドメイン間フェデレーション機能を導入で使用する場合は、ドメイン間フェデレーションでもサポートされません。フェデレーションの電子メールアドレスがこれらの導入シナリオの導入でイネーブルになっていないことを確認します。

Standard Edition Microsoft サーバの場合、スタティックルートは特定の Standard Edition サーバの IP アドレスを指す必要があります。

Enterprise Edition Microsoft サーバの場合、スタティックルートは特定の Enterprise Edition フロントエンドサーバの IP アドレスをポイントする必要があります。

Microsoft サーバフロントエンドロードバランサを使用する場合、次の点に注意してください。

- ロードバランサのリストについては、次の URL を参照してください。 <http://technet.microsoft.com/en-us/office/ocs/cc843611> ロードバランサを導入し、正しく管理するのはお客様の責任です。シスコでは、そのようなロードバランサを指すようなスタティックルートの構成をサポートしていません。
- フロントエンドロードバランサをバイパスするためのスタティックルートを設定することをお勧めします。

ハイアベイラビリティのためには、追加のバックアップスタティックルートをリモートドメインごとに設定できます。バックアップルートの優先順位は低く、プライマリスタティックルートの次のホップアドレスに到達できない場合にのみ使用されます。



### (注)

マルチクラスタを導入している場合は、各クラスタで、この手順を実行する必要があります。これらの設定はクラスタ全体で有効になります。したがって、任意のクラスタ内の IM and Presence サービスパブリッシャノードでのみ設定する必要があります。

## 手順

- 
- ステップ 1** [Cisco Unified Communications Manager IM and Presence Administration] ユーザーインターフェイスにリンクしています。[プレゼンス (Presence)] > [ルーティング (Routing)] > [スタティック ルート (Static Routes)] を選択します。
- ステップ 2** [新規追加 (Add New)] をクリックします。
- ステップ 3** ドメイン、つまり FQDN が元に戻るよう [宛先パターン (Destination Pattern)] 値を入力します。たとえば、ドメインが remote.com である場合、宛先パターンの値 com.remote にならなければなりません。
- ステップ 4** [ルート タイプ (Route Type)] で [domain] を選択します。
- ステップ 5** [ネクスト ホップ (Next Hop)] フィールドに次のホップの IP アドレスを入力します。
- ステップ 6** [ネクスト ホップ ポート (Next Hop Port)] および [プロトコル タイプ (Protocol Type)] を次のように設定します。
- TLS 暗号化の場合：
    - [ネクスト ホップ ポート (Next Hop Port)] の番号は **5061**
    - [プロトコル タイプ (Protocol Type)] は、**TLS**
  - TCP の場合：
    - [ネクスト ホップ ポート (Next Hop Port)] の番号は **5060**
    - [プロトコル タイプ (Protocol Type)] は、**TCP**
- ステップ 7** [プライオリティ (Priority)] 値を次のように入力します。
- プライマリ スタティック ルートについては、デフォルトの [プライオリティ (Priority)] 値 **1** を入力します。
  - バックアップ スタティック ルートについては、1 より大きい [プライオリティ (Priority)] 値を入力します (値が低いほど、スタティック ルートの優先度が高くなります)。
- ステップ 8** 他のすべてのパラメータにはデフォルト値を選択します。
- ステップ 9** [保存 (Save)] をクリックします。
- 

## 関連トピック

[統合のトラブルシューティング](#)

# Microsoftサーバのドメイン間フェデレーション機能とIM and Presence サービス統合の削除

ある段階で、Skype for Business/Lync/OCS 上で以前設定したリモートドメインの1つを使用して、ドメイン間フェデレーションの IM and Presence サービスを設定したい場合があります。これに関して最も可能性の高いシナリオとしては、すべての Microsoft Lync または Microsoft Office Communicator ユーザが IM and Presence サービスに移行された場合などが考えられます。この時点で、Microsoft サーバの展開をシャットダウンし、すべてのドメイン間フェデレーション機能は、代わりに IM and Presence サービスから直接有効にできます。

Microsoft サーバのドメイン間フェデレーション機能と IM and Presence サービスの統合を削除するには、[リモートドメイン用のスタティックルートの削除](#)、[\(6 ページ\)](#) と [SIP フェデレーションドメインの削除](#)、[\(6 ページ\)](#) を完了する必要があります。

## リモートドメイン用のスタティックルートの削除

### 手順

- 
- ステップ 1 [Cisco Unified IM and Presence Administration] ユーザインターフェイスにログインします。[プレゼンス (Presence) ]>[ルーティング (Routing) ]>[スタティックルート (Static Routes) ]を選択します。
  - ステップ 2 表示されるリストから適切なスタティックルートを選択します。リストが表示されない場合、[検索 (Find) ]を選択します。
  - ステップ 3 [選択項目の削除 (Delete Selected) ]をクリックします。
  - ステップ 4 [OK] をクリックして削除を実行します。
- 

### 次の作業

[SIP フェデレーションドメインの削除](#)、[\(6 ページ\)](#)

## SIP フェデレーションドメインの削除



- 
- (注) マルチクラスタを導入している場合は、各クラスタで、この手順を実行する必要があります。これらの設定はクラスタ全体で有効になります。したがって、任意のクラスタ内の IM and Presence サービス データベース パブリッシャ ノードでのみ設定する必要があります。
-

## 手順

- 
- ステップ 1 [Cisco Unified IM and Presence Administration] ユーザ インターフェイスにログインします。 [プレゼンス (Presence) ]>[ドメイン間フェデレーション (Inter Domain Federation) ]>[IP フェデレーション (SIP FederationS) ] を選択します。
  - ステップ 2 表示されたリストからドメインを選択します。 リストが表示されない場合、[検索 (Find) ] を選択します。
  - ステップ 3 [選択項目の削除 (Delete Selected) ] をクリックします。
  - ステップ 4 [OK] をクリックして削除を実行します。
- 

## 次の作業

リモートドメインへのスタティックルートを削除し、SIP フェデレーションドメインを削除したら、リモートドメインを使用してドメイン間フェデレーション用の IM and Presence サービスの設定に進むことができます。詳細については、『*Interdomain Federation for IM and Presence Service on Cisco Unified Communications Manager*』を参照してください。

